

大麻東中学校の教育活動から

- ① 地域との連携・協働による子どもたちの学び
- ② 小中一貫教育による子どもたちの可能性の伸長
- ③ 音楽があり表現する力を磨く学校づくり
- ④ 子どもたちの未来を切り拓くキャリア教育

①PTA・地域との連携・協働による学び

町内会や地域の施設、保護者の方々から温かい声をかけていただきながら教育活動を進めています。環境整備作業(5月)では、たくさんの保護者・地域の方と協働して、校舎内の清掃やグラウンドの整備を行っています。体育祭(5月)ではPTA種目やおやじの会による焼き鳥販売も実施。また、吹奏楽部は地域施設での発表会を行っています。子ども達の成長のため、今後も地域との関わりを大切にしていきます。



環境整備作業の様子



小中合同体力づくり

②小中一貫教育による子どもたちの可能性の伸長

大麻東中、大麻東小、大麻泉小の3校が連携・協働し、9年間切れ目のない教育活動を進めています。目指す子ども像を「かんがえ、つたえあう子」「おもいやりのある子」「すこやかな子」と設定し、合同体力テストや中学校教諭による小学校での出前授業の実施、6年生の中学校登校など、小中学校間でさまざまな取組を実施しています。

③音楽があり表現する力を磨く学校づくり

学級・学年合唱、吹奏楽といった音楽活動を教育活動の中心に位置付け、発表の機会や練習の場を充実させています。仲間と協働しながら一つの音楽を創り上げる経験を通して、感性や表現力を高め、自分の思いを主体的に発信する力を育てています。また、地域行事やえぼあホールでの音楽発表を通じて達成感や自己肯定感の向上も目指しています。



えぼあホールでの合唱発表



職場体験学習(2年生)

④子どもたちの未来を切り拓くキャリア教育

学んだことを生かし、自分の進路に向き合いながら未来を切り拓く力を育むキャリア教育に取り組んでいます。職業についての学習では、職業調べや職場体験学習を通して、興味関心がある職業について詳しく知り、将来の生き方について考える場を設けています。また、進路学習や高等学校の先生を招いた学校説明会を実施し、中学卒業後の進路について考え、主体的に進路選択する力を育てています。